校長のつぶやき(R6)vol. 9　　筑豊高校　校長　石井　ひとみ

啓蟄が過ぎ、一雨降るごとに暖かくなり、春の訪れを感じる今日この頃です。

去る３月１日に第 114 期生 106 名の卒業生を無事に送り出すことができました。心温まる素晴しい式となりました。改めて３年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業式の前日には、表彰式を行ない３年間の努力を讃えました。皆勤賞 15 名、学業優秀者賞 10 名、東雲賞 25 名、東雲特別賞（学業成績において本校生徒の模範となりかつ顕著な成績を残した者）９名、鈴掛賞 34 名、鈴掛特別賞（スポーツ・文化活動で顕著な成果を挙げ本校生徒の模範となり、本校の名誉と発展に寄与した者）11 名、延べ 104 名の生徒を６部門で表彰することができました。現在、直方駅には、本校の「全国家庭科技術検定四冠王」達成を祝して横断幕を掲げています。被服製作洋服１級、和服１級、食物調理１級、保育１級を全て取得できた９名、東雲特別賞として表彰したすばらしい生徒達です。各種目４級から始め、四冠王になるためには、合計 26 種類の検定合格を積み上げていくのです。正しく、たゆまぬ努力の結晶です。この四冠王取得を目指して、本校生活デザイン科へ入学し、目標が達成できたことに感動し、喜びに満ちあふれた笑顔で卒業していった姿が大変印象的でした。

今年度最後の“実学の筑豊”育成プロジェクトでは、森田保恵先生にお話いただきました。生活デザイン科の学科主任、そして、生活デザイン科の３年生の担任として、卒業生を出された次の日のお話でした。「四冠王を取得でき、うれし涙で卒業していった生徒、最後の検定であと１つ合格できず、肩を震わせるほどくやし涙を流した生徒、それぞれ一生懸命取り組んだからこその涙。それぞれが尊敬できる生徒です。」と。そして今回のワンフレーズは、「百考は一行にしかず」。（中国の歴史書「漢書」にある「趙充国伝」由来の故事成語）「百聞は一見にしかず」「百見は一考にしかず」「百考は一行にしかず」「百行は一果にしかず」「百果は一行にしかず」「百幸は一皇にしかず」「聞いて、見て、考え、行動する、それが自己満足ではなく、自分自身の成長や幸せにつながり、そして周りの幸せにつながる。この小さなループの積み上げが大切だと思います。」最後に、「聞いて、見て、考え、それらを、失敗を恐れずに行動に移せる勇気としなやかな心をもってほしいと願っています。」と筑豊高校の生徒に期待する言葉をいただきました。数多くのスペシャリストを育ててこられた森田先生の言葉だからこそ伝わる深い教えでした。

揮毛者（書道部）
生活デザイン科２年
大場　心菜さん（直方二中出身）

ALL CHIKUHOU
～WELL-BEING～
生徒も教員も家族も地域も
筑豊高校にかかわる
すべての人を幸せに